

(様式1B)

01	1: 新規	2: 更新
※02	受付番号	

※03	業者CODE																			
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(参考)

04	適格組合	年	月	日
	証明	第		号

一般競争（指名競争）参加資格審査申請書（地層処分に関する技術開発・技術調査等）

2019・2020年度において、原子力発電環境整備機構が所掌する地層処分に関する技術開発・技術調査等に係る競争に参加する資格の審査を申請します。
なお、この申請書および添付書類の内容については、事実と相違ないことを誓約します。

年 月 日

原子力発電環境整備機構 理事長 殿

05 郵便番号 -

06 フリガナ

本社(店)住所

07 フリガナ

商号又は名称

08 フリガナ 印

代表者氏名 (役職) (氏名)

09 フリガナ

担当者氏名

10 電話番号 - -

11 FAX番号 - -

12 メールアドレス

※欄については、記入しないこと。

(様式1B)

※ 受付番号 ※ 業者CODE

15 実績高	① 基準決算 以前の決算	② 基準決算	③ 直前2か年の 年間平均実績高 (千円)			
	年 月から 年 月まで (千円)	年 月から 年 月まで (千円)				
地層処分に関する技術開発、技術調査等						

16 実績件数	受託実績件数	研究論文件数

17 自己資本額	区 分	基準決算時 (千円)	決算後の増減額 (千円)	合計 (千円)			
	①株主資本 (うち外国資本)	()	()				
	②評価・換算差額金						
	③新株予約権						
	④合計						

18 経営状況

$$\text{流動比率} = \frac{\text{流動資産(千円)}}{\text{流動負債(千円)}} \times 100\% = \text{ } (\%)$$

21 外資状況	1 外国籍会社 [国名:]	3 日本国籍会社 [国名:] (比率: %)
	2 日本国籍会社 [国名:] (比率: 100%)	[国名:] (比率: %) [国名:] (比率: %)

19 常勤職員の数(人)		
うち役員数等		

20 営業年数	①創業	西暦 年 月 日
	②休業又は 転(廃)業の期間	年 月 日から 年 月 日まで
	③現組織への変更	西暦 年 月 日
	④営業年数	(年)

技術者数一覧表(技術者数および経験年数)

【1. 地質環境】

技術分野			経験年数ごとの技術者数※1					
大項目	中項目	小項目	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上
地質	構造地質							
	火山・火成活動							
	断層							
	隆起・侵食							
地熱								
地震								
資源								
地下水								
地球科学								
岩盤力学								
土木								
リモートセンシング								
地球統計学								
計測・モニタリング								
ボーリング								
物理探査								
年代測定								

※1上記「技術分野」において専門分野と経験を有する技術者数を経験年数ごとに整理してください。

同一の技術者が複数の分類項目の技術・経験を有している場合には、複数の項目に計上してください。

(様式1B-2)

【2. HLW処分技術(その1)】

技術分野			経験年数ごとの技術者数※1					
大項目	中項目	小項目	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上
ニアフィールド	ニアフィールド 長期健全性評価技術	ニアフィールドシステムの長期挙動評価						
		人工バリアの劣化評価						
		オーバーパックの沈下評価						
		岩盤クリープ評価						
		緩衝材の岩盤への貫入、流出評価						
		緩衝材と腐食生成物の相互影響評価						
		人工バリア中ガス発生／移行評価						
		緩衝材とコンクリートの相互影響評価						
		コンクリートの岩盤への長期影響評価						
		人工バリアの耐震安定性評価						
	人工バリアの設計技術	人工バリアシステムの設計						
		オーバーパックの設計						
		緩衝材の設計						
	人工バリアの製作技術	オーバーパックの製作						
		緩衝材の製作						
その他								
地下施設	地下施設の 設計評価技術	地下施設レイアウト設計						
		沿岸海底下処分						
		広域地下水流動評価						
		熱影響評価						
		地下坑道安定性評価(空洞安定性)						
		地下施設の操業時地震安定性評価						
		地下坑道支保工設計						
		掘削・支保工施工・ ずり搬出技術	アクセス坑道, 処分坑道					
	対策技術	処分孔						
		異常間隙水圧、山はね、膨張性地山、 ガス突出、大湧水等の対策工						
	操業技術	操業システム設計						
		オーバーパックの封入、搬送、定置						
		緩衝材搬送、定置						
	閉鎖技術	プラグ						
		埋め戻し						
		グラウト						
	その他							

※1上記「技術分野」において専門分野と経験を有する技術者数を経験年数ごとに整理してください。
同一の技術者が複数の分類項目の技術・経験を有している場合には、複数の項目に計上してください。

(様式1B-2)

【2. HLW処分技術(その2)】

技術分野			経験年数ごとの技術者数※1					
大項目	中項目	小項目	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上
地上施設	操業技術	ガラス固化体搬送						
		ガラス固化体受け入れ、検査						
	その他							
処分場の管理	再取り出し技術							
	モニタリング技術	モニタリング技術全般						
	品質管理技術	品質管理						
	工程管理技術	プロジェクト管理						
	記録の保存	記録の保存						
	その他							
総合設計技術	総合設計技術	処分場設計データベース						
	その他							

※1上記「技術分野」において専門分野と経験を有する技術者数を経験年数ごとに整理してください。

同一の技術者が複数の分類項目の技術・経験を有している場合には、複数の項目に計上してください。

(様式1B-2)

【3. HLW性能評価】

技術分野			経験年数ごとの技術者数※1					
大項目	中項目	小項目	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上
シナリオ解析技術	FEP							
	シナリオ							
	その他							
ニアフィールド 性能評価技術	ニアフィールド 性能評価モデル	ニアフィールド中の核種移行評価モデル						
		ガラスの長期溶解挙動評価モデル						
		コロイド移行評価						
		天然有機物・微生物影響評価						
		緩衝材間隙水化学モデル						
		ニアフィールド中の地下水流動評価モデル						
その他								
天然バリア 性能評価技術	天然バリア 性能評価モデル	母岩・断層中の核種移行評価モデル						
		コロイド移行評価						
		天然有機物・微生物影響評価						
		密度流評価技術						
その他								
生物圏評価技術	生物圏評価モデル	地表環境中の物質移行評価モデル						
		人間への被ばく評価モデル						
		その他						
システム総合 性能評価技術	システム総合性能評価モデル 性能評価データベース	熱力学データベース						
		人工バリア核種移行評価データベース						
		天然バリア核種移行評価データベース						
		生物圏データベース						
		モデル・データの品質管理						
	不確実性評価技術							
	変動／接近シナリオ評価技術							
	その他							

※1上記「技術分野」において専門分野と経験を有する技術者数を経験年数ごとに整理してください。
同一の技術者が複数の分類項目の技術・経験を有している場合には、複数の項目に計上してください。

(様式1B-2)

【4. TRU処分技術(その1)】

技術分野			経験年数ごとの技術者数※1					
大項目	中項目	小項目	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上
ニアフィールド	ニアフィールド 長期健全性評価技術	ニアフィールドシステムの長期挙動評価						
		人工バリアの劣化評価						
		廃棄体パッケージ(含構造躯体)の沈下評価						
		岩盤クリープ評価						
		緩衝材の岩盤への貫入、流出評価						
		人工バリア中ガス発生／移行評価						
		緩衝材とコンクリートの相互影響評価						
		コンクリートの岩盤への長期影響評価						
		人工バリアの耐震安定性評価						
	人工バリアの設計技術	人工バリアシステムの設計						
		廃棄体パッケージの設計						
		充填材の設計						
		構造躯体の設計						
		緩衝材の設計						
	人工バリアの製作技術	廃棄体パッケージの製作						
		充填材の製作						
		構造躯体の製作						
		緩衝材の製作						
	その他							

※1上記「技術分野」において専門分野と経験を有する技術者数を経験年数ごとに整理してください。
同一の技術者が複数の分類項目の技術・経験を有している場合には、複数の項目に計上してください。

(様式1B-2)

【4. TRU処分技術(その2)】

技術分野			経験年数ごとの技術者数※1					
大項目	中項目	小項目	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上
地下施設	地下施設の 設計評価技術	地下施設レイアウト設計						
		沿岸海底下処分						
		広域地下水流動評価						
		熱影響評価						
		地下坑道安定性評価(空洞安定性)						
		地下施設の操業時地震安定性評価						
		地下坑道支保工設計						
	掘削・支保工施工・ ずり搬出技術 対策技術	アクセス坑道, 処分坑道						
		処分孔						
	操業技術	異常間隙水圧、山はね、膨張性地山、 ガス突出、大湧水等の対策工						
		操業システム設計						
		構造躯体の定置						
		廃棄体パッケージの充填(封入),搬送,定置						
		構造区体内の充填						
閉鎖技術	緩衝材搬送、定置							
	プラグ							
地上施設	その他	埋め戻し						
		グラウト						
	操業技術	TRU廃棄体搬送						
		TRU廃棄体受け入れ、検査						
	処分場の管理	その他						
再取り出し技術								
総合設計技術	その他	モニタリング技術						
		モニタリング技術全般						
		品質管理技術						
		品質管理						
		工程管理技術						
プロジェクト管理								
記録の保存								
記録の保存								
総合設計技術								
処分場設計データベース								

※1上記「技術分野」において専門分野と経験を有する技術者数を経験年数ごとに整理してください。
同一の技術者が複数の分類項目の技術・経験を有している場合には、複数の項目に計上してください。

(様式1B-2)

【5. TRU性能評価】

技術分野			経験年数ごとの技術者数※1					
大項目	中項目	小項目	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上
シナリオ解析技術	FEP							
	シナリオ							
	その他							
ニアフィールド 性能評価技術	ニアフィールド 性能評価モデル	ニアフィールド中の核種移行評価モデル						
		TRU廃棄体の長期ソースターム挙動評価モデル						
		高アルカリプルーム・硝酸塩移行評価モデル						
		コロイド移行評価モデル						
		天然有機物・微生物影響評価モデル						
		緩衝材間隙水化学モデル						
	ニアフィールド中の地下水流動評価モデル							
その他								
天然バリア 性能評価技術	天然バリア 性能評価モデル	母岩・断層中の核種移行評価モデル						
		高アルカリプルーム・硝酸塩移行評価モデル						
		コロイド移行評価モデル						
		天然有機物・微生物影響評価モデル						
	密度流評価技術							
その他								
生物圏評価技術	生物圏評価モデル	地表環境中の物質移行評価モデル						
		人間への被ばく評価モデル						
	その他							
システム 総合性能評価技術	システム総合性能評価モデル							
	性能評価データベース	熱力学データベース						
		人工バリア核種移行評価データベース						
		天然バリア核種移行評価データベース						
		生物圏データベース						
		モデル・データの品質管理						
	不確実性評価技術							
	変動／接近シナリオ評価技術							
その他								

※1上記「技術分野」において専門分野と経験を有する技術者数を経験年数ごとに整理してください。
 同一の技術者が複数の分類項目の技術・経験を有している場合には、複数の項目に計上してください。

(様式1B-2)

【6. 社会科学, 環境保全、品質保証】

技術分野			経験年数ごとの技術者数※1					
大項目	中項目	小項目	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上
処分の安全確保	国際安全基準	地層処分の安全原則に係わる動向						
		放射線安全に係わる動向						
		制度的管理に係わる動向						
	その他							
社会的受容性	社会合意形成 地域共生	住民参加・コミュニケーション手法						
		制度設計						
		経済効果						
	その他							
環境保全	環境影響評価, 環境調査							
	環境対策, 保全工事							
	その他							
品質保証	品質保証							
	その他							

※1上記「技術分野」において専門分野と経験を有する技術者数を経験年数ごとに整理してください。
同一の技術者が複数の分類項目の技術・経験を有している場合には、複数の項目に計上してください。

【7. 処分事業の研究に実際に従事できる技術者の総数】

処分事業の研究に実際に従事できる技術者の総数を経験年数ごとに記入してください。
※各技術分野の延べ人数の合計ではありません。

5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上

(様式1B-3)

※ 受付番号

※ 業者CODE

営 業 所 一 覧 表

番号	営業所名称 (担当者氏名)	郵便番号	所在地	電話・FAX番号	技術者数
	()				
	()				
	()				
	()				
	()				
	()				
	()				
	()				
	()				
	()				
	()				
	()				
	()				
	()				

1. 本表は申請日現在で作成すること。
2. 「営業所名称」欄には、常時契約を締結する本店又は支店等営業所の名称を記入するとともに()内に連絡担当者名を記入すること。
3. 「所在地」欄には、営業所の所在地を記入すること。
4. 「電話・FAX番号」欄には、上段に電話番号を、下段にFAX番号をそれぞれ(市外局番)-(市内局番)-(加入者番号)の順に記入すること。
5. 「技術者数」欄には、それぞれの営業所に在籍している技術者数を記入すること。